

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	外反母趾における重症度と解剖学的特徴の評価・検討 [倫理審査受付番号：第 4275 号]
研究責任者氏名	井石 智也
研究期間	2022 年 12 月 26 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：外反母趾 / 診療科名等：整形外科 受診日：2017 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 11 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他 ()
研究目的・意義	<p>(目的)</p> <p>外反母趾において病因として環境的要因や解剖学的要因の双方が挙げられ、解剖学的要因は重症度と関連します。特に第1足根中足(tarsometatarsal:TMT)関節のhypermobility(過可動性)やinstability(不安定性)が外反母趾患者では有意に大きいと報告されており、足部解剖への注目が集まっています。楔状骨形態特に内側楔状骨の傾斜角は外反母趾の重症度と関連することが報告されていますが、内側楔状骨の長さに注目した報告はありません。</p> <p>本研究では当科で保存的治療および手術的治療を行った外反母趾の患者さんにおいて、短期～中長期における臨床評価と質的評価(画像評価)を併せて実施し、外反母趾における重症度と解剖学的特徴の関連を検討します。</p> <p>(意義)</p> <p>外反母趾手術において報告されているだけでも100種類以上がありますが、重症度と解剖学的特徴の関連性を知ることで術式の決定やさらに同一術式の中でも骨切りの向きや量を決定する参考となることが期待されます。</p>

研究の方法	2017年4月1日～2022年11月30日に、当科で外反母趾と診断された患者さんを対象とします。初診時の立位足部単純X線像を用いて外反母趾重症度を決定し、足部における解剖学的特徴(角度、長さ等)を計測し、それらの関連性を検討します。また患者さんの背景(年齢、身長、体重、BMI、既往歴等)、身体所見、画像所見(単純X線像、CT)、臨床評価(SAFE-Q、合併症、ADL等)、治療内容(保存的治療、手術的治療)などの項目について統計学的に検討します。
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：整形外科 担当者氏名：森尾 太志 [電話] (平日 8:30 ~ 16:45) 0798-45-6452 (時間外) 0798-45-6111